

PowerAddress（以下 PA）をご利用いただき誠にありがとうございます。

my\_database フォルダ内のファイルは、PA の住所録テーブルを任意の FileMaker ファイルで使うためのサンプルファイルです。ご利用の前に PA をバックアップすることをおすすめします。

#### ■my\_database フォルダ内のファイル

my\_database1: 住所録テーブルをレイアウトに直接表示して操作する例

my\_database2: ルックアップを設定して住所録テーブルの内容をコピーする例

my\_database3: リレーションシップを設定して住所録テーブルを結合する例

ヘルプ) 住所録テーブルを任意の FileMaker ファイルで使う

<http://poweraddress.powershift.jp/help/usage/relational/>

---

## 使用方法

---

PowerAddress フォルダ内の main は FileMaker Pro 12 で開く必要があります。使用手順は以下のとおりです。

### ■手順 1

my\_database フォルダを任意の場所に設置します。

初期状態のまま使う場合は PowerAddress フォルダ内に設置してください。

他の場所に設置する場合は「ファイル> 管理> 外部データソース...」を開き、PA の main と data のパスを変更します。

### ■手順 2

my\_database フォルダ内の my\_database ファイルを開きます。

ダイアログで [OK] をクリックすると手順 2 で設定した PA が開きます。

### ■手順 3

レイアウトを切り替えてサンプルをご利用ください。自由に変更することができます。

## 【備考】

住所録テーブルを操作するには、PA が開いている必要があります。一旦開いた PA は、ウインドウを閉じたり、Quit しても構いません。

my\_database ファイルを開くと、このレイアウトが表示され、PA を開くための「初期処理」というスクリプトが実行されます。詳しくは「ファイル> ファイルオプション...」をご覧ください。スクリプトの詳細はスクリプトメニューをご覧ください。

リレーションシップグラフを開くには、「ファイル> 管理> データベース...」の「リレーション」タブをクリックします。

---

## PowerAddress とは...

---

本製品は、個人情報管理のためのデータベースソフトです。国内外の連絡先や関連メモの管理、名簿印刷、宛名印刷などがご利用いただけます。

Win/Mac ランタイム版の「PowerAddress RT 4.8」は、FileMaker 製品がなくても基本的な機能が使えます。v4.8 からは、FileMaker 製品を使ってより高度な機能を利用することも可能です。

FileMaker 版の「PowerAddress FM 4.8」は、FileMaker 製品を使って動作します。起動のためのファイル群が不要なため、最小限のファイルサイズでご利用いただけます。

## PowerAddress

<http://poweraddress.powershift.jp/>

<http://www.powershift.ne.jp/poweraddress/>

## Powershift (パワーシフト)

[info@powershift.ne.jp](mailto:info@powershift.ne.jp)

<http://www.powershift.ne.jp/>

Copyright 2000-2012 Powershift. All Rights Reserved.